

8-4-4 道路専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 道路専門委員会の開催

委員会開催回数：10回（4月～1月）

(2) 対外活動

a) RCCM 登録更新教材の更新

「道路」及び「トンネル」について改訂作業を行い、これに伴いナレーションの変更対応も行った。

b) 視察「無電柱化等 事例の視察（金沢ほか）」

平成29年12月8日（金）～9日（土）に、観光・街づくりの一環として実施されている無電中化や自転車空間整備の知見の得ることを目的に視察を実施した。なお、視察では、北陸支部による協力のもと実施した（事例の案内・解説など）。視察参加者24名。

c) WG 活動

当委員会では、主に以下の4WGを設置して活動したので、各WGの活動記録について記述する。

① 設計システム WG

委員会社の若手技術者が集まり、「性能照査型道路計画・設計」、「無電柱化の推進」の2班に分かれて活動した。「性能照査型道路計画・設計」については、これまでの研究を継続して実施した。「無電柱化の推進」は、国を挙げての取組である、「無電柱化の推進」に向けた活動を行った（e項参照）。

② 品質向上 WG

過年度から継続し、設計ミス防止、品質向上を目指した「品質セミナー」の実施に向けてのエラーの事例集収集、作成及びセミナー講師として参画した。

③ 勉強会 WG

平成29年11月28日、道路専門委員会講習会「効率的な無電柱化の推進に向けて」を開催した（参加者62名）。

- ・ 「効率的な無電柱化の推進について国土

交通省施策及び先進事例」【国土交通省道路局環境安全課 交通安全政策分析官 蓮見有敏氏】

- ・ 「NPO 法人講師による地域住民や自治体との取り組みを通じた無電柱化の好事例及び反省点等現場の声」【NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク 理事兼事務局長 井上 利一】

④ 対外活動 WG

NEXCO 総研と、設計歩掛りの意見交換を行った。また、首都高速道路(株)と歩掛、仕様書、大規模更新等について意見交換を行った。

d) 北陸支部主催の技術講習会講師

講師として委員（4名）が参加し、採用例の少ない寒冷地におけるラウンドアバウトの技術の普及を行った。

- ・ 平成29年8月4日
- ・ 北陸支部 47名

e) 無電柱化促進部会コンサル SWG

国土交通省 無電柱化促進部会コンサル WGに参加した。その下部組織として設計システム WG メンバー、支部選抜メンバーによる SWG を組織し、低コスト化に向けた技術開発を推進した。その成果については、国土交通省無電柱化推進部会で発表するとともに、「無電柱化セミナー」（平成29年11月28日 国土交通省）において講師として講演した。

f) CIM・i-Construction への取り組み

国交省、及び国土地理院の活動に参加した。

2. 次年度の活動について

今年度の活動を継続実施するとともに道路、トンネルを取り巻く課題に取り組む。

（道路専門委員会委員長 森藤 敏一）